

令和元年度水道事業会計決算の概要

長浜水道企業団

1 業務の状況

給水人口は高月区域を除き減少しています。その一方で、一部の区域ではマンションの建設や宅地造成により核家族化が進み、給水件数が増加しています。

有収水量は、企業団、びわ区域を除き、減少しています。

漏水調査と修理により給水量が減少し、有収率が向上しましたが、依然50%台の区域もあるため、今後も漏水を減らす取組みを続けます。

区域	令和元年度	平成30年度	増減(率)
企業団	30,562 件	30,488 件	74 件 (0.2 %)
びわ	2,452 件	2,455 件	△ 3 件 (△ 0.1 %)
浅井	4,788 件	4,781 件	7 件 (0.1 %)
湖北	2,924 件	2,927 件	△ 3 件 (△ 0.1 %)
高月	3,666 件	3,638 件	28 件 (0.8 %)
木之本	2,167 件	2,177 件	△ 10 件 (△ 0.5 %)
余呉 木之本	1,706 件	1,707 件	△ 1 件 (△ 0.1 %)
西浅井	1,607 件	1,617 件	△ 10 件 (△ 0.6 %)
計	49,872 件	49,790 件	82 件 (0.2 %)

区域	令和元年度	平成30年度	増減(率)
企業団	75,748 人	75,920 人	△ 172 人 (△ 0.2 %)
びわ	6,623 人	6,667 人	△ 44 人 (△ 0.7 %)
浅井	12,782 人	12,854 人	△ 72 人 (△ 0.6 %)
湖北	8,209 人	8,337 人	△ 128 人 (△ 1.5 %)
高月	10,573 人	10,505 人	68 人 (0.6 %)
木之本	5,227 人	5,369 人	△ 142 人 (△ 2.6 %)
余呉木 之本	3,443 人	3,546 人	△ 103 人 (△ 2.9 %)
西浅井	3,786 人	3,872 人	△ 86 人 (△ 2.2 %)
計	126,391 人	127,070 人	△ 679 人 (△ 0.5 %)

項目	区域	令和元年度	平成30年度	増減(率)	
年間給水量	企業団	9,204,905 m3	9,094,144 m3	110,761 m3	(1.2 %)
	びわ	1,340,298 m3	1,383,429 m3	△ 43,131 m3	(△ 3.1 %)
	浅井	1,907,077 m3	1,995,327 m3	△ 88,250 m3	(△ 4.4 %)
	湖北	1,208,286 m3	1,282,816 m3	△ 74,530 m3	(△ 5.8 %)
	高月	1,543,464 m3	1,673,596 m3	△ 130,132 m3	(△ 7.8 %)
	木之本	899,820 m3	895,731 m3	4,089 m3	(0.5 %)
	余呉木之本	722,437 m3	809,318 m3	△ 86,881 m3	(△ 10.7 %)
	西浅井	674,881 m3	706,942 m3	△ 32,061 m3	(△ 4.5 %)
	計	17,501,168 m3	17,841,303 m3	△ 340,135 m3	(△ 1.9 %)
年間有収水量	企業団	8,006,083 m3	7,973,402 m3	32,681 m3	(0.4 %)
	びわ	806,753 m3	805,918 m3	835 m3	(0.1 %)
	浅井	1,240,008 m3	1,257,014 m3	△ 17,006 m3	(△ 1.4 %)
	湖北	799,980 m3	802,406 m3	△ 2,426 m3	(△ 0.3 %)
	高月	996,551 m3	1,016,787 m3	△ 20,236 m3	(△ 2.0 %)
	木之本	611,548 m3	651,871 m3	△ 40,323 m3	(△ 6.2 %)
	余呉木之本	425,892 m3	473,601 m3	△ 47,709 m3	(△ 10.1 %)
	西浅井	423,175 m3	449,543 m3	△ 26,368 m3	(△ 5.9 %)
	計	13,309,990 m3	13,430,542 m3	△ 120,552 m3	(△ 0.9 %)
有収率	企業団	87.0 %	87.7 %	△ 0.7 P	
	びわ	60.2 %	58.3 %	1.9 P	
	浅井	65.0 %	63.0 %	2.0 P	
	湖北	66.2 %	62.6 %	3.6 P	
	高月	64.6 %	60.8 %	3.8 P	
	木之本	68.0 %	72.8 %	△ 4.8 P	
	余呉木之本	59.0 %	58.5 %	0.5 P	
	西浅井	62.7 %	63.6 %	△ 0.9 P	
	計	76.1 %	75.3 %	0.8 P	

※有収率＝年間有収水量÷年間給水量

※給水量と有収水量の差が、漏水や火災の消火用水です。

2

収益的収支の状況

収入では、浅井、湖北、余呉木之本、西浅井区域で料金改定を行ったため増加しています。

支出では、徹底したコスト削減により、ほとんどの区域で減少しています。

この結果、企業団、びわ、浅井、湖北、高月、西浅井区域は黒字決算、木之本、余呉木之本区域は赤字決算となっています。

(千円)

収入	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)給水収益	1,291,025	125,924	192,157	125,277	121,533	127,002	68,521	66,161	2,117,600
(2)受託工事収益	13,193	2,107	4,080	1,399	6	21	65	170	21,041
(3)受託事業収益	38,856	3,031	8,759	4,525	6,300	2,499	2,021	2,087	68,078
(4)その他営業収益	11,044	606	771	361	766	290	93	91	14,022
(5)受取利息	6,285	1,418	1,061	1,205	1,117	395	0	0	11,481
(6)加入金	59,210	3,260	4,480	1,800	6,340	380	1,100	520	77,090
(7)負担金	22,104	2,100	11,876	6,778	3,074	1,530	4,260	5,553	57,275
(8)長期前受金戻入	174,628	19,569	17,907	15,732	37,933	42,016	44,141	15,944	367,870
(9)雑収益	2,715	36	572	199	6	19	462	154	4,163
総収入	1,619,060	158,051	241,663	157,276	177,075	174,152	120,663	90,680	2,738,620

支出	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井	合計
(1)原浄水費	173,743	18,490	29,902	17,809	23,326	35,104	23,321	20,892	342,587
(2)給配水費	133,883	4,958	5,978	3,070	2,857	2,593	2,897	949	157,185
(3)業務費	99,690	12,096	17,908	4,016	16,058	2,396	1,376	1,477	155,017
(4)総係費	110,712	452	744	458	497	330	170	189	113,552
(5)減価償却費	567,230	45,250	121,077	78,259	104,093	101,646	84,491	52,254	1,154,300
(6)資産減耗費	4,610	2,144	3,352	16,638	9,733	11,438	1,300	3,422	52,637
(7)その他営業費用	3,755	384	373	188	354	157	35	23	5,269
(8)支払利息	131,724	9,451	18,231	9,578	13,259	21,555	6,712	9,090	219,600
(9)雑支出	3,024	600	1,323	731	420	271	403	631	7,403
(10)予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総支出	1,228,371	93,825	198,888	130,747	170,597	175,490	120,705	88,927	2,207,550
純利益	390,689	64,226	42,775	26,529	6,478	△ 1,338	△ 42	1,753	531,070
当年度未処分利益剰余金	741,265	150,629	135,426	303,511	205,943	△ 190,630	57,791	11,460	1,415,395

(1) 企業団水道事業

収入	1,739,015 千円	(1,619,060 千円)
支出	1,345,820 千円	(1,228,371 千円)
差引			390,689 千円
平成30年度繰越利益剰余金			350,576 千円
令和元年度未処分利益剰余金			741,265 千円

安定した収益が確保でき、良好な経営状況となっております。
令和元年度は3億9,068万9千円の黒字となり、このうち3億円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	1,739,015	1,712,884	26,131 (1.5 %)
水道料金	1,403,254	1,387,558	15,696 (1.1 %)
受託工事収益	14,509	1,647	12,862 (780.9 %)
受託事業収益	38,857	44,011	△ 5,154 (△ 11.7 %)
加入金	64,396	52,791	11,605 (22.0 %)
負担金	22,436	34,819	△ 12,383 (△ 35.6 %)
長期前受金戻入	174,628	173,861	767 (0.4 %)
その他	20,935	18,197	2,738 (15.0 %)

※ 負担金内訳

消火栓設置に伴う施設増加維持管理費15,279千円

(うち長浜市13,251千円、米原市2,028千円)

児童手当に要する経費2,877千円

(うち長浜市2,653千円、米原市224千円)

公営企業会計システム負担金3,637千円(長浜市)

水道メーター交換に係る経費643千円(米原市)

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	1,345,820	1,347,703	△ 1,883 (△ 0.1 %)
原浄水費	186,711	193,207	△ 6,496 (△ 3.4 %)
給配水費	136,258	122,603	13,655 (11.1 %)
業務費	103,391	100,984	2,407 (2.4 %)
総係費	111,155	120,999	△ 9,844 (△ 8.1 %)
減価償却費	567,231	566,747	484 (0.1 %)
支払利息	131,724	148,359	△ 16,635 (△ 11.2 %)
その他の費用	11,428	6,470	4,958 (76.6 %)
消費税	97,922	88,334	9,588 (10.9 %)

(2) びわ上水道事業

収入	169,482 千円 (158,051 千円)
支出	103,596 千円 (93,825 千円)
差引	64,226 千円	
平成30年度繰越利益剰余金	86,403 千円	
令和元年度未処分利益剰余金	150,629 千円	

企業団へ統合後に料金改定を行い、良好な経営状況となっておりますが、今後、企業団水道事業への統合を予定しており、工事費の増加が見込まれます。

令和元年度は、6,422万6千円の黒字となり、このうち3千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	169,482	166,133	3,349 (2.0 %)
水道料金	136,838	135,371	1,467 (1.1 %)
受託工事収益	2,316	2,033	283 (13.9 %)
受託事業収益	3,031	1,631	1,400 (85.8 %)
加入金	3,558	1,922	1,636 (85.1 %)
負担金	2,100	2,967	△ 867 (△ 29.2 %)
長期前受金戻入	19,536	20,343	△ 807 (△ 4.0 %)
その他	2,103	1,866	237 (12.7 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費2,100千円

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	103,596	126,932	△ 23,336 (△ 18.4 %)
原浄水費	19,513	21,063	△ 1,550 (△ 7.4 %)
給配水費	5,399	6,011	△ 612 (△ 10.2 %)
業務費	12,268	9,037	3,231 (35.8 %)
総係費	490	672	△ 182 (△ 27.1 %)
減価償却費	45,249	46,614	△ 1,365 (△ 2.9 %)
支払利息	9,451	11,315	△ 1,864 (△ 16.5 %)
その他の費用	3,130	23,274	△ 20,144 (△ 86.6 %)
消費税	8,096	8,946	△ 850 (△ 9.5 %)

(3) 浅井上水道事業

収入	258,854 千円 (241,663 千円)
支出	217,025 千円 (198,888 千円)
差引		42,775 千円
平成30年度繰越利益剰余金		92,651 千円
令和元年度未処分利益剰余金		135,426 千円

簡易水道統合事業の支払利息や減価償却費の負担が大きいものの、料金を改定するとともに支出を抑制し、経営状況が改善してきました。また、統合簡易水道として企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。これらにより、令和元年度は4,277万5千円の黒字となり、このうち2千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

今後は、取水施設の改善や浄水場の改造を予定しており、工事費の増加が見込まれます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	258,854	243,463	15,391 (6.3 %)
水道料金	208,801	196,003	12,798 (6.5 %)
受託工事収益	4,476	1,895	2,581 (136.2 %)
受託事業収益	8,759	3,131	5,628 (179.8 %)
加入金	4,909	6,402	△ 1,493 (△ 23.3 %)
負担金	11,876	14,783	△ 2,907 (△ 19.7 %)
長期前受金戻入	17,535	19,059	△ 1,524 (△ 8.0 %)
その他	2,498	2,190	308 (14.1 %)

※ 負担金内訳 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費3,000千円 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費8,876千円(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	217,025	221,720	△ 4,695 (△ 2.1 %)
原浄水費	32,031	32,139	△ 108 (△ 0.3 %)
給配水費	6,489	8,142	△ 1,653 (△ 20.3 %)
業務費	18,557	13,306	5,251 (39.5 %)
総係費	806	1,128	△ 322 (△ 28.5 %)
減価償却費	121,077	129,656	△ 8,579 (△ 6.6 %)
支払利息	18,231	21,219	△ 2,988 (△ 14.1 %)
その他の費用	5,087	1,706	3,381 (198.2 %)
消費税	14,747	14,424	323 (2.2 %)

(4) 湖北簡易水道事業

収入	163,468 千円	(157,276 千円)
支出	142,516 千円	(130,747 千円)
差引		26,529 千円
平成30年度繰越利益剰余金		276,982 千円
令和元年度未処分利益剰余金		303,511 千円

料金を改定するとともに支出を抑制し、経営状況が改善してきました。また、簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。これらにより、令和元年度は2,652万9千円の黒字となりました。このうち1千万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

今後は、漏水が多発する西部地区での大規模な水道管路工事を予定しており、工事費の増加が見込まれます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	163,468	153,026	10,442 (6.8 %)
水道料金	136,113	115,792	20,321 (17.5 %)
受託工事収益	1,539	4,605	△ 3,066 (△ 66.6 %)
受託事業収益	4,525	10,977	△ 6,452 (△ 58.8 %)
加入金	1,957	1,512	445 (29.4 %)
負担金	6,779	8,197	△ 1,418 (△ 17.3 %)
長期前受金戻入	10,751	10,458	293 (2.8 %)
その他	1,804	1,485	319 (21.5 %)

※ 負担金内訳 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,990千円 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費4,789千円(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	142,516	120,084	22,432 (18.7 %)
原浄水費	18,904	19,681	△ 777 (△ 3.9 %)
給配水費	3,331	8,227	△ 4,896 (△ 59.5 %)
業務費	4,308	2,698	1,610 (59.7 %)
総係費	497	875	△ 378 (△ 43.2 %)
減価償却費	78,258	75,029	3,229 (4.3 %)
支払利息	9,578	10,755	△ 1,177 (△ 10.9 %)
その他の費用	17,560	725	16,835 (2,322.1 %)
消費税	10,080	2,094	7,986 (381.4 %)

(5) 高月上水道事業

収入	188,098 千円 (177,075 千円)
支出	180,797 千円 (170,597 千円)
差引	6,478 千円	
平成30年度繰越利益剰余金	199,465 千円	
令和元年度未処分利益剰余金	205,943 千円	

給水原価が低く、料金水準が低い中でも良好な経営状況で、令和元年度は647万8千円の黒字となりました。

良質な地下水源を有しているため原価が低く、経営状況も良好ですが、有収率が低く、漏水修理費用の増加が見込まれるとともに、浄水場や配水池の増強、漏水多発管路の更新を予定しており、工事費の増加が見込まれます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	188,098	188,370	△ 272 (△ 0.1 %)
水道料金	132,086	132,807	△ 721 (△ 0.5 %)
受託工事収益	7	4	3 (75.0 %)
受託事業収益	6,300	2,574	3,726 (144.8 %)
加入金	6,938	8,768	△ 1,830 (△ 20.9 %)
負担金	3,074	3,812	△ 738 (△ 19.4 %)
長期前受金戻入	37,768	37,435	333 (0.9 %)
その他	1,925	2,970	△ 1,045 (△ 35.2 %)

※ 負担金内訳 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費2,220千円 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費854千円(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	180,797	167,488	13,309 (7.9 %)
原浄水費	24,783	28,540	△ 3,757 (△ 13.2 %)
給配水費	3,084	4,087	△ 1,003 (△ 24.5 %)
業務費	16,477	9,086	7,391 (81.3 %)
総係費	539	730	△ 191 (△ 26.2 %)
減価償却費	104,094	103,746	348 (0.3 %)
支払利息	13,259	13,785	△ 526 (△ 3.8 %)
その他の費用	10,506	1,180	9,326 (790.3 %)
消費税	8,055	6,334	1,721 (27.2 %)

(6) 木之本上水道事業

収入	183,345 千円 (174,152 千円)
支出	186,801 千円 (175,490 千円)
差引		△ 1,338 千円
平成30年度繰越利益剰余金	△ 189,292 千円	
令和元年度未処分利益剰余金	△ 190,630 千円	

大音浄水場建設に伴う企業債の支払利息や減価償却、日々の維持管理費用が大きな負担となっています。浄水場ろ過膜の洗浄回数を水質監視強化や機器の調整を行うことで削減する等費用を抑制しておりますが、令和元年度は133万8千円の赤字、累積で1億9千万円を超える赤字となる極めて深刻な財政状況です。

今後、高月上水道事業への統合を予定しており、接続工事のほか、配管網の再構築が必要となるため、工事費の増加が見込まれます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	183,345	190,743	△ 7,398 (△ 3.9 %)
水道料金	138,058	146,385	△ 8,327 (△ 5.7 %)
受託工事収益	23	36	△ 13 (△ 36.1 %)
受託事業収益	2,499	1,302	1,197 (91.9 %)
加入金	413	367	46 (12.5 %)
負担金	1,530	1,722	△ 192 (△ 11.1 %)
長期前受金戻入	40,103	40,230	△ 127 (△ 0.3 %)
その他	719	701	18 (2.6 %)

※ 負担金内訳
消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,530千円

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	186,801	193,061	△ 6,260 (△ 3.2 %)
原浄水費	37,357	32,404	4,953 (15.3 %)
給配水費	2,820	1,962	858 (43.7 %)
業務費	2,578	2,717	△ 139 (△ 5.1 %)
総係費	358	533	△ 175 (△ 32.8 %)
減価償却費	101,646	103,402	△ 1,756 (△ 1.7 %)
支払利息	21,555	22,871	△ 1,316 (△ 5.8 %)
その他の費用	11,866	21,219	△ 9,353 (△ 44.1 %)
消費税	8,621	7,953	668 (8.4 %)

(7) 余呉木之本簡易水道事業

収入	126,225 千円 (120,663 千円)
支出	127,735 千円 (120,705 千円)
差引	△ 42 千円	
平成30年度繰越利益剰余金	57,833 千円	
令和元年度未処分利益剰余金	57,791 千円	

料金を改定するとともに支出を抑制し、令和元年度は4万2千円の赤字となりました。簡易水道に対しては、企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられるため、ただちに経営が破綻するわけではありません。

しかし、老朽施設が多く、漏水も多発していることから、今後施設の更新を検討していかなければならず、経営の悪化が懸念されます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	126,225	125,409	816 (0.7 %)
水道料金	74,467	70,373	4,094 (5.8 %)
受託工事収益	72	4,958	△ 4,886 (△ 98.5 %)
受託事業収益	2,021	1,056	965 (91.4 %)
加入金	1,189	302	887 (293.7 %)
負担金	4,260	4,483	△ 223 (△ 5.0 %)
長期前受金戻入	43,621	44,167	△ 546 (△ 1.2 %)
その他	595	70	525 (750.0 %)

※ 負担金内訳 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費904千円 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費3,356千円(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	127,735	138,984	△ 11,249 (△ 8.1 %)
原浄水費	25,101	31,003	△ 5,902 (△ 19.0 %)
給配水費	3,152	6,568	△ 3,416 (△ 52.0 %)
業務費	1,491	3,729	△ 2,238 (△ 60.0 %)
総係費	184	248	△ 64 (△ 25.8 %)
減価償却費	84,491	85,482	△ 991 (△ 1.2 %)
支払利息	6,712	7,084	△ 372 (△ 5.3 %)
その他の費用	1,739	559	1,180 (211.1 %)
消費税	4,865	4,311	554 (12.9 %)

(8) 西浅井簡易水道事業

収入	93,564 千円 (90,680 千円)
支出	96,191 千円 (88,927 千円)
差引	1,753 千円	
平成30年度繰越利益剰余金	9,707 千円	
令和元年度未処分利益剰余金	11,460 千円	

料金を改定するとともに支出を抑制しました。また、簡易水道に対し企業債の元利償還(利息)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。これらにより、令和元年度は175万3円の黒字となりました。

老朽施設が多く、漏水も多発していることから、今後施設の更新を検討していかなければならず、経営の悪化が懸念されます。

(収益的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業収益	93,564	89,647	3,917 (4.4%)
水道料金	71,871	66,007	5,864 (8.9%)
受託工事収益	187	989	△ 802 (△ 81.1%)
受託事業収益	2,087	1,110	977 (88.0%)
加入金	569	259	310 (119.7%)
負担金	5,553	6,012	△ 459 (△ 7.6%)
長期前受金戻入	13,049	14,967	△ 1,918 (△ 12.8%)
その他	248	303	△ 55 (△ 18.2%)

※ 負担金内訳 消火栓設置に伴う施設増加維持管理費1,005千円 簡易水道の企業債に対する利息支払額の1/2に相当する経費4,548千円(長浜市)

(収益的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
水道事業費用	96,191	117,023	△ 20,832 (△ 17.8%)
原浄水費	22,460	47,567	△ 25,107 (△ 52.8%)
給配水費	1,018	3,461	△ 2,443 (△ 70.6%)
業務費	1,589	2,433	△ 844 (△ 34.7%)
総係費	205	327	△ 122 (△ 37.3%)
減価償却費	52,254	52,351	△ 97 (△ 0.2%)
支払利息	9,090	9,791	△ 701 (△ 7.2%)
その他の費用	4,076	107	3,969 (3,709.3%)
消費税	5,499	986	4,513 (457.7%)

3 資本的収支の状況

(1) 企業団水道事業

収入	20,483 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	631,382 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	3,348 千円
差引	△ 610,899 千円	減債積立金	300,000 千円
		過年度分損益勘定資金	307,551 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

水道事業統合のための認可変更を行ったほか、JR北陸本線横断箇所更新のための設計や、水道工事跡の舗装復旧工事を行い、これらの財源として企業債を借りました。その他企業債の元金5億9,256万5千円を返済しています。

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	20,483	19,400	1,083 (5.6 %)
企業債	19,600	19,400	200 (1.0 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	883	0	883 (— %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	631,382	669,221	△ 37,839 (△ 5.7 %)
建設改良費	37,254	32,842	4,412 (13.4 %)
営業設備費	1,563	9,195	△ 7,632 (△ 83.0 %)
企業債償還金	592,565	627,184	△ 34,619 (△ 5.5 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(2) びわ上水道事業

収入	31,285 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	90,989 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	3,063 千円
差引	△ 59,704 千円	減債積立金	20,000 千円
		過年度分損益勘定資金	36,641 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

下水道工事に伴い支障となる配水管の移設工事を行い、この財源として企業債を借りました。その他企業債の元金5,103万2千円を返済しています。

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	31,285	1,600	29,685 (1,855.3 %)
企業債	17,100	1,600	15,500 (968.8 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	14,185	0	14,185 (— %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	90,989	58,481	32,508 (55.6 %)
建設改良費	39,900	1,949	37,951 (1,947.2 %)
営業設備費	57	67	△ 10 (△ 14.9 %)
企業債償還金	51,032	56,465	△ 5,433 (△ 9.6 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(3) 浅井上水道事業

収入	48,764 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	115,888 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	2,091 千円
差引	△ 67,124 千円	減債積立金	10,000 千円
		過年度分損益勘定資金	55,033 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

取水施設新設設計を行ったほか、水道管路更新工事跡の舗装工事を行い、この財源として企業債を借りました。また、簡易水道統合事業の企業債の元金返済が8,892万7千円と大きな負担となっています。この返済について、統合簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	48,764	53,117	△ 4,353 (△ 8.2 %)
企業債	6,000	6,800	△ 800 (△ 11.8 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	3,060	△ 3,060 (△ 100.0 %)
分担金	42,764	43,257	△ 493 (△ 1.1 %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	115,888	99,211	16,677 (16.8 %)
建設改良費	26,830	9,903	16,927 (170.9 %)
営業設備費	131	91	40 (44.0 %)
企業債償還金	88,927	89,217	△ 290 (△ 0.3 %)
予備費	0	0	0 (— %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費42,764千円

(4) 湖北簡易水道事業

収入	62,494 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	93,104 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	1,410 千円
差引	△ 30,610 千円	減債積立金	10,000 千円
		過年度分損益勘定資金	19,200 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

簡易水道統合事業による管路布設後の舗装工事のほか、平成30年7月豪雨で崩落した西部配水池管理道路を復旧する工事を行い、財源として一部長浜市等から負担金を受け、企業債を借りました。

その他企業債の元金6,042万2千円を返済し、この返済について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	62,494	137,052	△ 74,558 (△ 54.4 %)
企業債	15,500	92,000	△ 76,500 (△ 83.2 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	16,712	△ 16,712 (△ 100.0 %)
分担金	46,994	28,340	18,654 (65.8 %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	93,104	165,325	△ 72,221 (△ 43.7 %)
建設改良費	32,648	113,693	△ 81,045 (△ 71.3 %)
営業設備費	34	50	△ 16 (△ 32.0 %)
企業債償還金	60,422	51,582	8,840 (17.1 %)
予備費	0	0	0 (— %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費30,153千円
山本地先災害復旧工事に伴う負担金4,079千円

(5) 高月上水道事業

収入	5,568 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	67,629 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	1,720 千円
差引	△ 62,061 千円	減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	60,341 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

地域水道ビジョンに基づき水源の強化を図るため、新規水源の調査を行い、財源として内部留保資金を使用しました。

その他企業債の元金4,435万2千円を返済しています。この返済の一部について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	5,568	80,442	△ 74,874 (△ 93.1 %)
企業債	0	39,100	△ 39,100 (△ 100.0 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	5,568	41,342	△ 35,774 (△ 86.5 %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	67,629	115,331	△ 47,702 (△ 41.4 %)
建設改良費	23,210	76,273	△ 53,063 (△ 69.6 %)
営業設備費	67	136	△ 69 (△ 50.7 %)
企業債償還金	44,352	38,922	5,430 (14.0 %)
予備費	0	0	0 (— %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費5,568千円

(6) 木之本水道事業

収入	1,397 千円	不足分補てん財源(自己資金)		道路(橋梁)工事に伴う既設添架管撤去工事を を行い、財源として分担金を受け、不足する 分については内部留保資金を使用しました。 その他企業債の元金7,089万2千円を返済して います。
支出	72,401 千円	当年度分消費税およ び地方消費税資本的 収支調整額	132 千円	
差引	△ 71,004 千円	減債積立金	0 千円	
		過年度分損 益勘定資金	70,872 千円	
		当年度分損益勘定留 保資金	0 千円	

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	1,397	35,246	△ 33,849 (△ 96.0 %)
企業債	0	6,400	△ 6,400 (△ 100.0 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	1,397	28,846	△ 27,449 (△ 95.2 %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	72,401	117,341	△ 44,940 (△ 38.3 %)
建設改良費	1,452	47,963	△ 46,511 (△ 97.0 %)
営業設備費	57	29	28 (96.6 %)
企業債償還 金	70,892	69,349	1,543 (2.2 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(7) 余呉木之本簡易水道事業

収入	21,962 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	42,490 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	322 千円
差引	△ 20,528 千円	減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	20,206 千円
		当年度分損益勘定留保資金	0 千円

中河内浄水場タッチパネル更新工事および水道工事跡の舗装復旧工事を行い、その財源として企業債を借り入れました。また、企業債の元金3,892万4千円を返済し、この返済について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	21,962	21,591	371 (1.7 %)
企業債	2,500	0	2,500 (- %)
出資債	0	0	0 (- %)
補助金	0	0	0 (- %)
分担金	19,462	21,591	△ 2,129 (△ 9.9 %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	42,490	43,186	△ 696 (△ 1.6 %)
建設改良費	3,546	0	3,546 (- %)
営業設備費	20	5	15 (300.0 %)
企業債償還金	38,924	43,181	△ 4,257 (△ 9.9 %)
予備費	0	0	0 (- %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費19,462千円

(8) 西浅井簡易水道事業

収入	44,040 千円	不足分補てん財源(自己資金)	
支出	79,443 千円	当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額	780 千円
差引	△ 35,403 千円	減債積立金	0 千円
		過年度分損益勘定資金	12,072 千円
		当年度分損益勘定留保資金	22,551 千円

菅浦浄水場のろ過装置を長期にわたり使用するため、延命化工事を行い、財源として企業債を借りました。その他企業債の元金7,085万2千円を返済し、この返済について、簡易水道に対する企業債の元利償還(元金)の2分の1が一般会計から繰り入れられています。

(資本的収入)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	44,040	71,664	△ 27,624 (△ 38.5 %)
企業債	8,500	35,000	△ 26,500 (△ 75.7 %)
出資債	0	0	0 (— %)
補助金	0	4,262	△ 4,262 (△ 100.0 %)
分担金	35,540	32,402	3,138 (9.7 %)

(資本的支出)

科目	令和元年度	平成30年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	79,443	104,253	△ 24,810 (△ 23.8 %)
建設改良費	8,580	39,444	△ 30,864 (△ 78.2 %)
営業設備費	11	5	6 (120.0 %)
企業債償還金	70,852	64,804	6,048 (9.3 %)
予備費	0	0	0 (— %)

※ 分担金のうち長浜市からの繰入金
簡易水道の企業債に対する元金償還額の1/2に相当する経費35,540千円

4 給水原価の状況

(1) 給水原価と供給単価

給水原価は、膜処理施設を有する木之本、余呉木之本、西浅井区域で高くなっています。
供給単価は、木之本区域で高くなっています。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
総費用(千円)	1,036,794	71,765	176,529	113,427	132,303	133,296	76,464	72,790
有収水量(千m3)	8,006	807	1,240	800	997	612	426	423
給水原価(円)	129.5	89.0	142.4	141.8	132.8	218.0	179.5	172.0
供給単価(円)	161.3	156.1	155.0	156.6	122.0	207.7	160.9	156.3

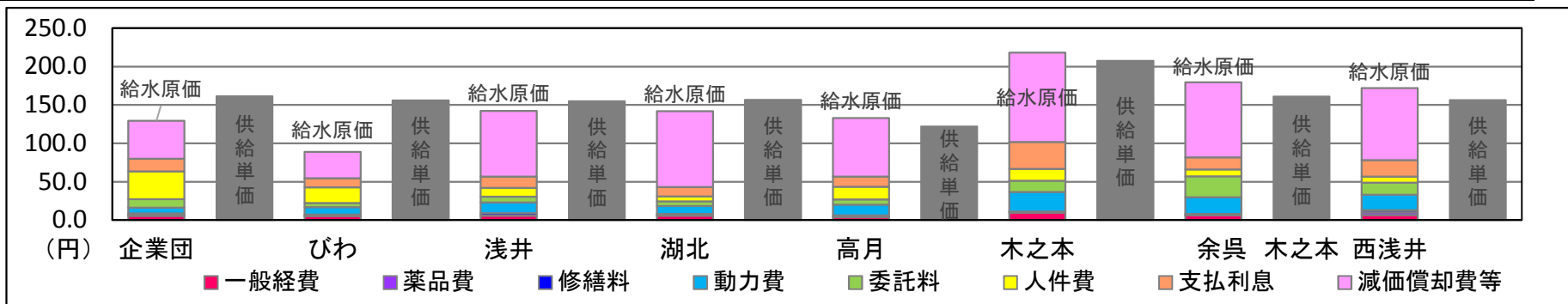
※給水原価(有収水量1m3あたりの費用) = {総費用 - (受託工事費 + 材料売却原価 + 長期前受金戻入)} ÷ 有収水量

※供給単価(有収水量1m3から得られる料金) = 水道料金収入 ÷ 有収水量

(2) 原価構成

大規模な建設工事を行った事業では全体的に1m3あたりの減価償却費等や支払利息が高く、膜処理施設を有する事業では運転に係る電力消費による動力費や修繕料も高くなっています。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
減価償却費等	49.6	34.5	85.8	98.8	76.1	116.2	97.8	93.9
支払利息	16.5	11.7	14.7	11.9	13.2	35.1	15.8	21.5
人件費	36.1	20.5	11.2	6.5	16.3	15.5	8.8	7.6
委託料	10.9	5.4	7.5	6.2	6.8	14.4	27.1	15.8
動力費	7.8	9.4	14.0	10.5	14.3	25.7	22.1	20.0
修繕料	1.9	2.0	3.3	2.0	1.9	0.8	1.3	3.1
薬品費	1.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.9	0.4	3.6
一般経費	5.5	5.4	5.8	5.8	3.9	9.4	6.2	6.5
計	129.5	89.0	142.4	141.8	132.8	218.0	179.5	172.0

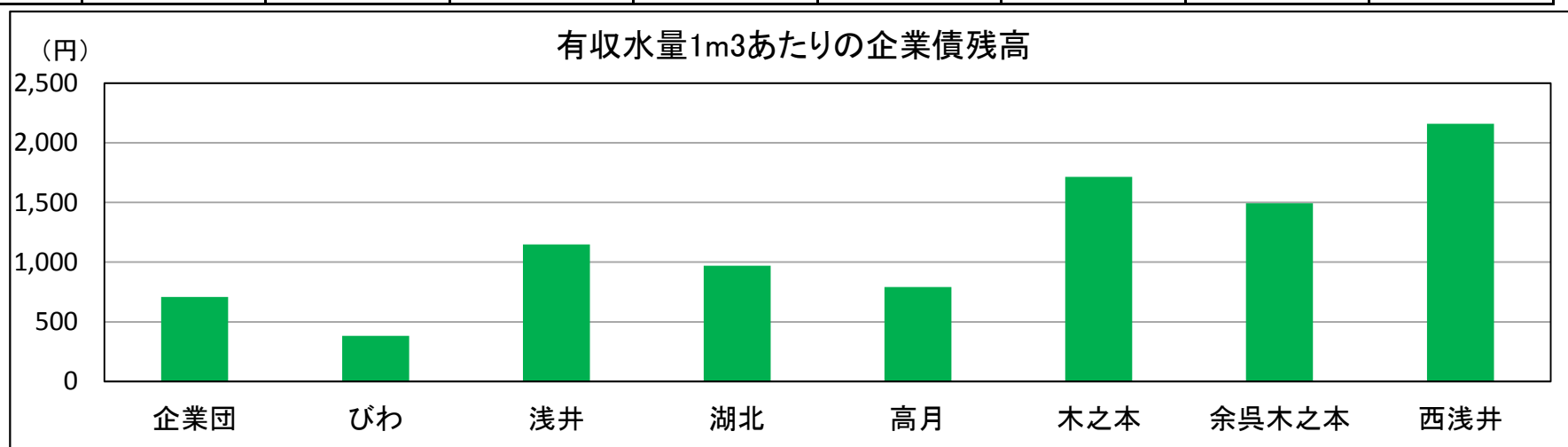


5 その他財政状況

(1) 企業債の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
平成30年度末残高	6,237,468	341,746	1,507,357	820,651	833,790	1,120,373	672,721	976,496
令和元年度借入額	19,600	17,100	6,000	15,500	0	0	2,500	8,500
令和元年度返済額	592,565	51,032	88,927	60,422	44,352	70,892	38,925	70,852
令和元年度末残高	5,664,503	307,814	1,424,430	775,729	789,438	1,049,481	636,296	914,144



(2) 内部留保資金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
平成30年度末残高	582,210	437,236	523,802	321,465	331,768	389,275	43,670	12,072
令和元年度受入額	397,212	27,824	106,522	79,164	75,893	71,069	41,650	39,732
令和元年度使用額	307,550	36,641	55,033	19,199	60,341	70,873	20,206	34,623
令和元年度末残高	671,872	428,419	575,291	381,430	347,320	389,471	65,114	17,181

(3) 退職給与引当金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
平成30年度末残高	261,272	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度受入額	35,269	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度使用額	7,532	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度末残高	289,009	0	0	0	0	0	0	0

(4) 減債積立金、利益積立金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
平成30年度末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度受入額	300,000	20,000	10,000	10,000	0	0	0	0
令和元年度使用額	300,000	20,000	10,000	10,000	0	0	0	0
令和元年度末残高	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 建設改良積立金の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
平成30年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0
令和元年度受入額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0

(6) 修繕引当金、特別修繕積立金の状況

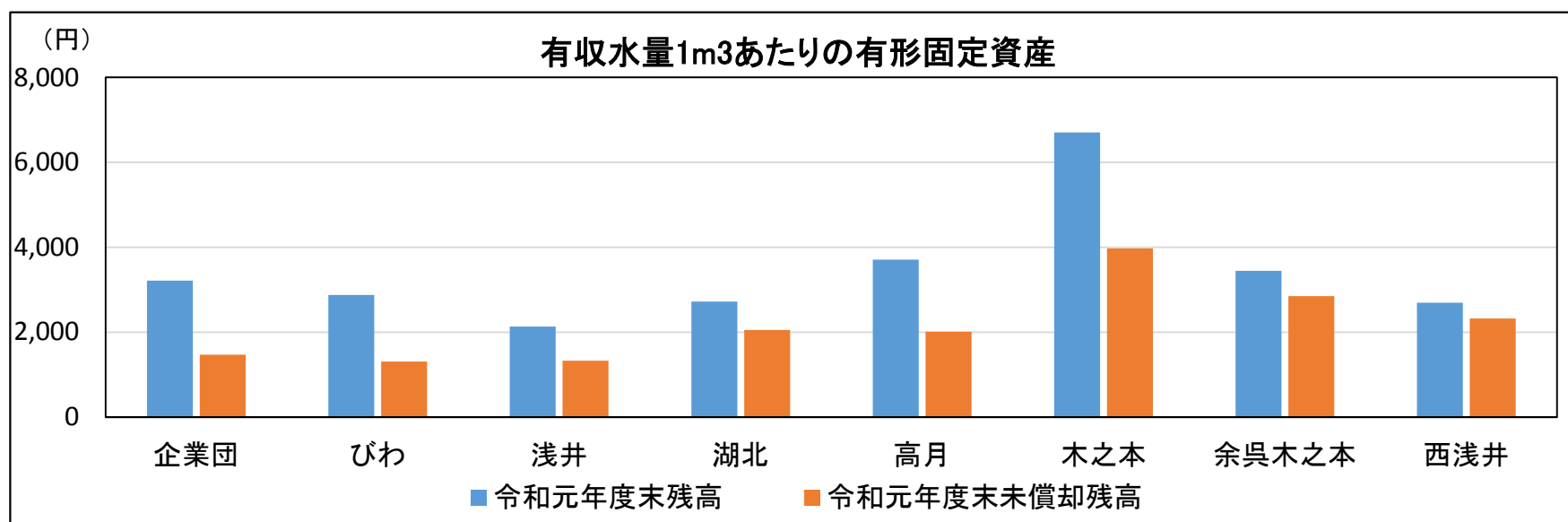
(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
平成30年度末残高	636,683	88,065	0	0	1,271	251	0	0
令和元年度受入額	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度使用額	488	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度末残高	636,195	88,065	0	0	1,271	251	0	0

(7) 有形固定資産の状況

(千円)

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
平成30年度末残高	25,763,470	2,298,879	2,627,424	2,176,568	3,692,476	4,133,523	1,467,713	1,136,741
令和元年度増加額	72,064	74,458	28,978	57,557	24,588	11,308	6,466	15,612
令和元年度減少額	91,303	51,673	8,922	53,477	18,164	42,963	4,832	12,065
令和元年度末残高	25,744,231	2,321,664	2,647,480	2,180,648	3,698,900	4,101,868	1,469,347	1,140,288
令和元年度末減価償却累計額	13,950,931	1,263,598	997,020	537,707	1,689,310	1,668,791	254,882	156,030
令和元年度末未償却残高	11,793,300	1,058,066	1,650,460	1,642,941	2,009,590	2,433,077	1,214,465	984,258



(8) 主な指標

① 総収益対総費用比率 (%)

算式 $(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$

総収益と総費用を対比させ、企業の全活動の能率を表すもので、この比率が高いほど経営状態が良好である。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
総収益対総費用比率	131.8	168.5	121.5	120.3	103.8	99.2	100.0	102.0	115.2

② 流動比率 (%)

算式 $(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$

短期債務に対してこれに必ずべき流動資産が十分にあるかどうかを示すもので、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払に十分な流動資産を有していることになる。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
流動比率	290.6	1,009.4	752.7	936.6	1,102.7	271.2	236.6	64.8	377.1

③ 職員1人当たり有収水量 (m3)

算式 $\text{年間総有収水量} / \text{損益勘定所属職員}$

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
職員1人当たり有収水量	306,669	402,959	628,507	802,406	508,394	651,871	473,601	449,543	445,659

④ 施設利用率 (%)

算式 $(\text{1日平均給水量} / \text{1日給水能力}) \times 100$

施設能力に対する利用率を示す。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
施設利用率	56.5	54.1	81.6	74.1	82.8	45.6	87.9	84.5	63.8

⑤ 配水管使用効率 (m³/m)

算式 年間総給水量 / 導送配水管延長

導送配水管1m当たりの給水量をみて、その効率を計る。量が多いほど使用効率がよい。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
配水管使用効率	18.2	18.1	10.7	13.1	16.6	20.1	6.0	12.1	16.6

⑥ 固定資産使用効率 (m³/万円)

算式 年間総給水量 / 有形固定資産

有形固定資産1万円当たりの給水量をみて、その効率を計る。量が多いほど使用効率がよい。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成30年度)
固定資産使用効率	7.7	13.1	12.1	7.8	8.3	3.7	6.7	7.2	7.1

⑦ 管路の事故割合 (件/100km)

算式 (管路の事故件数 / 管路総延長) × 100

管路100kmあたりの事故件数を表しています。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成29年度)
管路の事故割合	0.8	2.6	1.6	11.3	2.0	11.2	4.4	3.4	9.1

⑧ 給水管の事故割合 (件/1,000件)

算式 (給水管の事故件数 / 給水件数) × 1,000

給水件数1,000件あたりの給水管の事故件数を表しています。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	県内平均 (平成29年度)
管路の事故割合	1.0	12.2	5.0	13.7	14.7	4.2	4.7	3.7	3.2

6 主要事業の状況

(1) 水道事業統合のための認可変更(企業団)

地域水道ビジョンに基づき水道事業の再編を行うための認可変更を行うもので、平成30年度から繰り越しており、令和2年3月27日に厚生労働大臣へ届出を完了しました。

(2) 取水施設建設のための設計業務委託および建設工事(浅井、高月)

地域水道ビジョンに基づき水源の強化を図るため、新規の取水施設の建設を行うもので、浅井区域での設計業務については完了し、本井戸工事を令和2年度に繰り越して実施します。

また、高月区域では調査井戸の揚水試験を行い、令和2年度に繰り越して実施します。

(3) 配水管整備事業(企業団、びわ、浅井、湖北、木之本、余呉木之本)

漏水の危険性の高い配水管の布設替、道路や河川工事に伴い支障となる配水管の移設、水道工事跡の舗装本復旧工事等を実施しました。特に企業団区域において踏切下配水管の更新を行い、湖北区域においては、地域水道ビジョンに基づき西部簡易水道区域で送配水管路の更新を計画し、令和元年度は設計業務を委託し、令和2年度から工事に取りかかります。

また、旧大井橋撤去に伴い添架している配水管の移設のため、NTTと共同で河川下の推進工事を行うための設計を完了し、令和2年度に工事を実施します。

(4) 膜モジュール薬品洗浄(木之本、余呉木之本、西浅井)

企業団が経営する水道事業および簡易水道事業には膜ろ過施設を有する浄水場が5箇所あり、1～2年に一度薬品洗浄と数年に一度の膜交換が必要になります。令和元年度は、膜モジュールの交換はなく、大音、菅並、中河内、永原で膜モジュールの薬品洗浄を完了しました。

(5) 菅浦浄水場ろ過装置延命化工事(西浅井)

菅浦浄水場のろ過装置を長期的にわたり使用するため、延命化工事を行いました。